

ボランティア部 活動報告

令和3年7月30日に、ボランティア部の生徒4名が、献血ボランティアを行いました。

栄献血ルーム（名古屋市中区栄）で献血制度の仕組みなどについて教わり、街頭での献血の呼びかけ、献血して下さった方へ渡すお菓子の袋詰めを行いました。

事前に作っておいた看板を掲げ、距離を保ちながら呼びかけを行いました。見知らぬ人に声をかけることは勇気のいることですが、大きな声で「献血のご協力をお願いします」と呼びかけることができました。

平日の昼間ということもあり、呼びかけによって献血をするという方はいませんでしたが、仕事帰りや休日に献血に来るきっかけになるそうです。

今回が初めての校外活動となりましたが、とても充実したボランティアとなりました。

献血について

献血とは、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊いのちを救うために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。

（日本赤十字社のHPより引用）

今回の活動に参加した2週間後に、ボランティア部顧問の妻が出産に伴う出血多量で、緊急の輸血を行いました。輸血を必要としている人はたくさんいます。また、皆さん自身や、皆さんの大切な人が輸血をする可能性もあります。

献血は16歳から行うことができます。現在コロナの影響で献血の数が減っているので、みなさんもぜひご協力をお願いいたします。

